

彦根市教育委員会会議録

会議の日	令和7年9月25日(木)
会議場所	彦根市役所本庁舎5-1会議室、5-2会議室
出席委員等 5人中 5人出席	教育長 西嶋 良年 教育長職務代理者 永瀆 隆 委員 小松 照明 委員 本田 啓子 委員 田附 孝子
出席職員 (説明員)	教育部次長(教育総務課長) 清水 智子 こども家庭部次長(幼児課長) 植田 勝彦 副参事(図書館長、新図書館整備推進室長) 久保田 雄介 副参事(博物館副館長、学芸史料課長) 渡辺 恒一 副参事(博物館管理課長) 都築 養子 学校教育課長 東野 了賢 学校教育課主幹 小坂 英司 学校ICT推進課長 北川 尚樹 学校支援・人権・いじめ対策課長 小磯 浩司 生涯学習課長 西川 真由美 生涯学習課主幹 川添 義夫 教育研究所長 清水 貴博 学校給食センター所長 今井 和宏 広野教育集会所長 中江 淳展
会議次第	
1 開 会	午後1時30分
2 議 題	内 容 なし(報告事項および各所属の取組事項についてのみ)
3 その他	内 容 別添のとおり
4 閉 会	午後2時17分

1 開 会

教育長 ただ今から教育委員会会議を開会します。

本日提案している議題は、ございません。

本日の議事の進行につきましては、「教育長報告」のあと、2件の報告事項を説明させていただきます。その後、「次第 4 各所属の取組事項について」の質疑を行い、「次第 5 その他」で教育委員会の所管事項について、委員からのご質問をいただきます。

本日の議事進行につきまして、ご異議はありませんか。

各委員 なし。

教育長 それでは、私から「教育長報告」をさせていただきます。

8月22日金曜日、彦根市立教育研究所「調査研究発表会・教育講演会」を滋賀県立大学にて開催しましたので、教育委員のみなさんと出席をしました。

8月24日日曜日、第41回姉妹城都市彦根市・高松市親善少年野球交歓大会が甲良町総合運動公園で開催されましたので、出席をしました。

8月25日月曜日、放課後児童クラブの視察に佐和山小放課後児童クラブを訪問し、視察を行いました。

8月27日水曜日、9月の定例校長会議を旭森地区公民館にて対面で行い、出席をしました。

8月29日金曜日、彦根市教育支援教室「オアシス」運営委員会を本庁で開催し、出席をしました。

8月30日土曜日、午前中に彦根市防災訓練が東中学校と城東小学校にて行われ、避難所開設運営訓練が行われました城東小学校会場に出席をしました。午後は、第75回社会を明るくする運動・青少年健全育成彦根市大会がひこね市文化プラザで開催されましたので、出席をしました。

9月1日月曜日、9月市議会が開会となりましたので、出席をしました。

9月4日木曜日、教育委員会会議(臨時会)を本庁で行いました。

9月8日月曜日、代表質問・個人質問が11日木曜日まで4日間行われましたので、出席し答弁をしました。

9月16日火曜日、予算常任委員会が本庁で開かれましたので、出席をしました。

9月18日木曜日、福祉病院教育常任委員会が本庁で開かれましたので、出席をしました。

9月19日金曜日、中部日本吹奏楽コンクール本大会に稲枝中学校が出場することになりま

したので、激励訪問を行いました。

9月22日月曜日から10月20日までの5日間、人事異動にかかる校長ヒアリングを実施しています。

9月24日水曜日、校長の人事評価前期面談を10月29日水曜日にかけて、4日間Web会議形式で行っています。

9月25日木曜日、9月の教育委員会会議となっています。

報告は以上です。何かご質問やご意見がありましたらお願いします。

各委員 なし。

2 前回会議録の承認

3 報告事項

教育長 次第3「報告事項」に入らせていただきます。

「令和7年9月市議会定例会について」報告をお願いします。

教育部次長から報告がありました。

田附委員 奥野議員が質問された学校等からの救急車要請の件ですが、救急車要請をした際に、状況により選定療養費が生じることを保護者にお伝えしていますという答弁があります。どのような状況の時にこれが発生するのか教えて欲しいと思います。

学校教育課長 選定療養費は、主に紹介状なしで大病院を初診・再診する際に発生します。この制度は、総合病院等において重症患者の専門的な診療に支障が出るのを防ぎ、かかりつけ医などの診療所や地域の病院との機能分担を進め、地域全体の医療提供体制を機能させることを目的としています。一方、救急外来での緊急性の高い受診や、医師の指示による複数の科への受診などの場合は、選定療養費はかからないことになっています。

田附委員 すごく大きなけがや病気の時に救急車要請をしますが、大体は彦根市立病院とか総合病院に搬送していると思うのですが、その場合はかからないということですか。

学校教育課長 救急搬送された場合であっても、医師の判断によって緊急性が高いと判断されなかった場合や医師の指示による受診がなかった場合には、選定療養費が生じる可能性がありますので、保護者には予め伝えるようにしています。

小松委員 黒澤議員が質問されていますが、学校体育館への空調設備の導入については、大津市

とか草津市とか、結構いろいろな地域で進んでいて、東近江市とか5市3町では今後整備予定ありとされていますが、彦根市、長浜市は整備予定なしとなっています。整備計画から言えば、彦根市ではこの実現は難しいという答弁になっていて、優先順位づけも今の段階ではできないと言っています。体育館の空調設備について小学校や中学校からの要望は出てきているのですか。学校からの要望があればよいというわけではないですが、一番は財政的な問題だと思うので、学校現場の要望がどれぐらい上がってきているのか気になります。これからは当分、この暑い中でも工夫してやっていくために、学校としてはいろいろ前向きに考えてやっていかないと仕方がないと思うのですが、体育館への空調設備設置についての学校からの意見が出ていたら、教えて欲しいです。

教育総務課長 体育館の空調設備設置に関して、予算上、財政事情とかも踏まえていただくのこともかもしれませんが、具体的に体育館に空調をまず設置して欲しいという話はもらっていません。しかし、校長会からの要望として、夏の体育館の暑さや災害対策の面からも必要で学校を避難所として設定するのであれば、至急予算措置を行う必要があるのではないかと、教育委員会の予算だけではなく、危機管理の面からの予算措置を求められるのではないかと、いつ災害が起こるかわからないため自治体として高い防災意識で対応をお願いしたい、ともらっています。

教育長 次に、「彦根市立小学校における給食調理業務委託事業者選定に係る公募型プロポーザルの実施について」報告をお願いします。

学校給食センター所長から報告がありました。

小松委員 今回、稲枝西小と稲枝北小で委託業務になるということですが、彦根市の小学校は、これですべて委託になるのですか。まだ一部残る小学校もあるのですか。もう1点教えて欲しいのは、今受託している業者は何社ぐらいあって、今回のプロポーザルにはその業者のうち何社ぐらいが参加されているのか、今の参加状況がわかれば教えて欲しいです。

学校給食センター所長 彦根市の小学校がこれですべて委託になるのかということですが、今回は2校、稲枝西小と稲枝北小のプロポーザルを実施しまして、これは更新となります。5年間の委託の更新時期に当たっています。委託については、17校中16校で今も変わらず、若葉小学校だけはまだ直営で残っています。それから、参加業者の数、彦根市の現在の委託業者の数ですが、彦根市では現在16校で委託をしていて、受託者の数で言うと4業者です。学

校によって業者が違いますが、多いところで6校を持っていて、あと3校、3校、4校という割り振りになっていたと思います。今回のプロポーザルへの参加状況は、現在は募集の段階ですが、9月16日の現地説明会に参加した業者は2業者でした。今後、現地説明会に来ていなくても、実際に手を上げる業者もあるかもしれませんが、今のところ未定です。

4 各所属の取組事項について

本田委員 「放課後児童クラブ 特色ある保育一覧」を見ていると、いろいろ工夫をされて、子どもに体験をさせていると思いますが、実際の子どもたちの反応とかがあったら聞かせてもらえますか。

生涯学習課長 特に夏は、今年は1,900人ほどの児童を全体で預かっています。特色ある保育というのは日常的に取り組んでもらっているものの、夏休みは朝から午後6時半まで過ぎますので、すごく長い間子どもたちが過ごす中で、経験値というものも大切と考えています。皆さん、とても喜んで参加されていると聞いています。また、前年度は夏休みが終った後に、保護者から特色ある保育についてお礼の手紙が届きました。保護者としても、毎日朝から午後6時半まで子どもを預けていることに対して一抹の後ろめたさというか、社会に出て働いてはいるものの気になっているところがあったけれど、子どもが今日はこんなことした、あんなことしたと、いろいろと話してくれる姿が嬉しくてということでお礼の手紙を頂戴しました。この夏は、いろいろ特色ある保育に取り組んだのですが、彦根市では鳥人間コンテストがいつも開催されていて、それに伴って、航空力学とか、そういうものにも興味を持って欲しいということで、紙飛行機を使って、粘土で重さを前につけてみたり中間ぐらいに重みをつけてみたりと、試行錯誤を子どもが繰り返しながらどれが一番よく飛ぶのか、というのを実験してみたりとか、そういった特色ある保育に楽しみながら参加してもらったというのが印象に残っています。

本田委員 こういう企画はシダックスの社員が企画するとか、中心になって実施しているのですか。

生涯学習課長 児童クラブをただ留守するだけの時間で過ごさせない工夫、特色ある保育の工夫をしてくださいということで、その提案を積極的にしてくれるところを採択するというか、評価の対象にしています。事業者も企業力を生かして、企業同士で協力し合って、例えばベネッセとシダックスが協力し合って、オンラインでダンス教室を開いてみるとか。各事業者

の創意工夫を競うような形でしてもらっているというのが現状です。

本田委員 コロナ以降、学校でもいろいろな体験をさせていると思いますが、そこだけに限らず、地域とかいろいろな場面でいろいろな人の力を得ながら体験をたくさんさせることはすごく大事なことです。荒神山自然の家もなくなるし、どちらの方向に行っているのかと思った時に、やはり地域の人の力を借りて、いろいろな体験を子どもたちにさせていく必要があるのかなと感じました。学校でも体験はしていますが、学校以外でもたくさん体験できるのはよいことだと思います。

永瀆職務代理者 彦根市コミュニティ・スクール(学校運営協議会)推進事業に係る各学校運営協議会への支援についてで、「重点中学校ブロック」を決めると書いてありますが、この「重点中学校ブロック」はどの学校か教えてください。それと、年2回の視察とか書いてありますが、他にも何か「重点中学校ブロック」対して、働きかけをするのであれば教えてください。

生涯学習課主幹 「重点中学校ブロック」については、3年計画ですべての学校運営協議会の伴走支援に当たりたいと考えています。今年度の「重点中学校ブロック」は、中央中ブロック、鳥居本中ブロック、稲枝中ブロックで、全部で8つの学校運営協議会を視察することになります。また、令和8年度は西中ブロックと南中ブロックの8つの学校運営協議会を、そして、令和9年度は東中ブロックと彦根中ブロックの7つの学校運営協議会を予定しています。まず、「重点中学校ブロック」の決定に際しては、昨年度すべての学校運営協議会を訪問していますので、その結果や、複数年の計画での支援を実施するという、情報発信における市全体への広がりとか、各ブロックの学校数等をもとに決定をしたところです。「重点中学校ブロック」の学校への対応については、第2回の学校運営協議会をすべて視察した後、そこで話し合われたことが具現化されているような場合は、それが地域学校協働活動となりますが、その場面を見させてもらいます。また、学校によって状況が難しい場合は、第3回の学校運営協議会を見させてもらうということで、年間2回の視察を考えているところです。また、それ以外の学校、今年度「重点中学校ブロック」に当たっていない学校については、すべての学校から会議録を会議が終了するごとに提出してもらっていますので、それを読んで状況把握をして、場合によっては、こちらから相談に出向くとか、できる限り各学校の状況に合わせた支援に努めていきたいと考えています。そうすることで、一定、どの学校も学校運営協議会の質を高めていけるのではないかと考えているところです。

小松委員 コミュニティ・スクールを今年度から全学校に広げて、いろいろな工夫をやってもら

っていると、私もホームページを見ています。非常にわかりやすいホームページになっていると感じました。このホームページですが、どれぐらい閲覧をされているのでしょうか。今回の活動が広まっているかどうか、そのフォローはしっかりやって欲しいと思います。コミュニティ・スクールに力を入れてもらっているという様子はよく理解できましたので、あくまでも要望です。

生涯学習課主幹 「重点中学校ブロック」の視察や会議録を提出してもらう中で、市全体に広めていくような取り組み等については、コミュニティ・スクールだよりを作成して、市のホームページに掲載し、C4thで各学校へ送信するとともに各地区公民館に掲示してもらっているところです。本日の資料にも第2号までつけましたが、今回第3号も出まして、引き続き第4号と、月1回程度発行していきたいと考えています。各学校の方でも、ホームページでこの学校運営協議会について発信をしてもらっていますので、それを支援するような形で、教育委員会としても、ホームページや公民館での掲示を活用していきたいと思っています。また、10月10日に市役所1階のロビーに展示ブースを設営して、市役所に来ていただく方にも発信していきたいと考えています。

5 その他

本田委員 今回の長崎議員への答弁で、令和8年度から実施を予定している整備工事の費用について、算出作業を行っているところですよというのがありました。そして、次の項目では、中央館の整備については財政状況が改善されるまでは延伸ですよというのがありました。新市民体育センターの時にも、どんどん材料費が上がったりして、費用が高くなっていったという記憶があるのですが、今回もそういう心配とか可能性はあるのでしょうか。それから、中央館は財政のことを思ったら、当分延伸でいくのだろうとは思いますが、このままずっといくものなのでしょうか。

新図書館整備推進室長 1つ目の(仮称)図書館中部館の建設費用についてですが、これは計画当初から、物価の高騰等がありますので、当初計画で示している建設費よりは、年々上がっていくということも想定をしまして、当初に算出した建設費に物価上昇率を掛ける形で、議会でも数字を想定して答弁しています。今現在、実施設計の中で実際に詳細な金額を算出しているところですので、その物価上昇率以外の要因で上るかどうかは今の時点ではわかりませんが、想定としては、物価上昇率分は上がるであろうと考えています。あと、中央館の

建設についてですが、中央館は今現在彦根市図書館整備基本計画がありまして、その計画で中央館は亀山学区に建設することを記載しています。ただし、財政状況が厳しいということで、計画には書いていませんが、議会などで、市の方針として財政状況が改善するまで延伸するという方針を示しています。計画に変更はありませんので、中央館は今の計画を変更、改定しない限りは計画通りということになりますが、いつの時期に実現するかというのは、申し上げることはできないという状況です。

教育長 以上で本日の会議を閉会します。

10月の会議は、10月23日木曜日、午後1時30分から本庁舎5階5-1、5-2会議室で開催します。皆さんお疲れ様でした。